

令和2年度小松島市事務事業評価シート

■事業の位置づけ（基本事項）

担当課係 まちづくり推進課 高速道路・街路担当

事務事業名	日峯大神子広域公園（脇谷地区）整備事業		事業予算費目			
総合計画上の位置付け	政 策	① 安全・安心で快適に暮らせるまちづくり	款	8	土木費	
	基本目標	2. 快適な暮らしづくり	項	7	都市計画費	
	施 策	2-1 快適な生活・都市基盤の整備	目	2	公園費	
	基本方針	2-1-2 公園・緑地等・交流拠点の整備	事業	3	日峯大神子広域公園（脇谷地区）整備事業	

■事務事業の概要（PLAN）

事業の目的	人口減少・少子高齢化社会の到来による都市公園に求められるニーズや、地震・津波などの大規模災害に対応するための機能を持つ安全で安心して快適に利用できる公共空間として公園を再整備する。	事業の内容	都市公園として再整備を実施するため、都市計画事業の認可取得及び国の社会資本整備総合交付金（都市公園等事業）の採択を受け、施設整備及び用地取得を行う。
-------	--	-------	--

■事務事業の業績・推移（DO）

成果指標	指標名	単位	実績		目標	目標
	指標の説明		R1	R2	R3	R4
			目 標			
			実 績			
			R1年度決算	R2年度決算	R3年度予算	市民一人あたりのコスト
関連事業費	事業費		118,861,057	162,210,767	56,931,000	R1 3,145
	財源内訳	国県支出金	28,085,000	50,252,000	19,500,000	R2 4,355
		地方債	53,200,000	98,700,000	33,400,000	各年度4月1日現在の人口
		利用者負担・その他	0	19,550	19,000	R1 37,795
		一般財源	37,576,057	13,239,217	4,012,000	R2 37,243

■評価（CHECK）

事業の方向性		拡 充	縮小して継続	判定理由	切迫する南海トラフ巨大地震、それに伴う津波や豪雨など自然災害が日本各地で発生しており、市民の防災・減災に対する意識が高い。また、社会情勢の変化により、子供が安心して利用することのできる公共空間を求める声も多く、事業を継続していく必要がある。
		改善・効率化し継続	休止・廃止		
	○	現状のまま継続	完了		

■改善・効率化の方向性（ACTION）

今後の課題	用地については計画的に取得し、施設整備についても埋蔵文化財発掘調査を経ての整備となるため関係機関と連携し着実に取り組む必要がある。また物件等補償に関しては、法律的な解釈も含め、権利関係調査を慎重に行う必要がある。
今後の方向性	アフターコロナの観点から、防災機能だけではなくオープンスペースとしての魅力的な滞在環境を提供するための必要性が求められていることにより、全体として合理的な計画見直しを行うとともに、都市計画法に基づく都市公園事業計画に適合した計画策定を行い、その計画に沿った再整備を行う必要がある。